



# 稲沢市 観光まちづくり ビジョン



## 第2次稲沢市観光基本計画

### 概要版

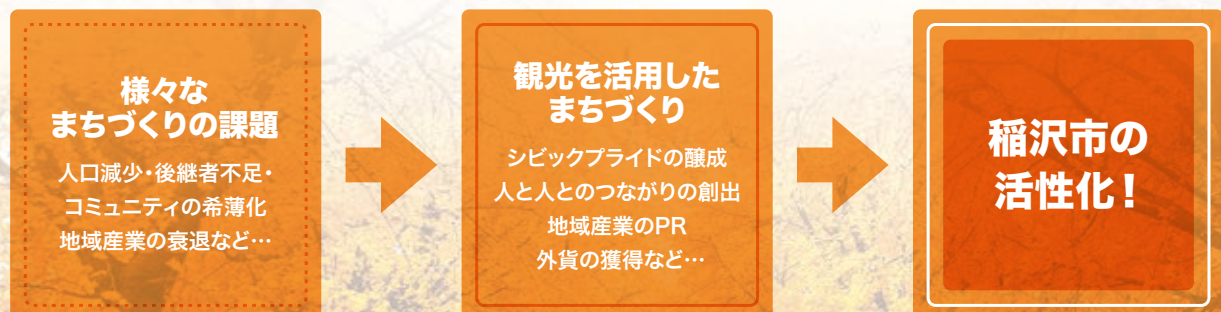
観光を“手段”として活用し、  
まちの活性化につなげたい。

今後、数十年の稲沢市の将来を考えると、様々なまちづくりの課題に直面することが予想されます。

稲沢市では、これらの課題を「観光」を活用して解決できないかと考えています。

「観光を“手段”として活用することによって、まちの活性化につなげたい。」

そういう想いで、稲沢市では観光に取り組んでいきます。



2018(平成30)年3月

稲沢市

# 1

## 稲沢市観光まちづくりビジョン (計画期間:2018(平成30)年度~2027(平成39)年度)

### 稲沢市が目指す観光

#### 基本理念

# 稲沢の“光”をつなぐ観光まちづくり

稲沢市では「地域の活性化やまちづくり・人づくりの“手段”として観光を活用しよう」という視点に着目した『観光まちづくり』を進めています。私たちが目指す観光は、稲沢市の多様な地域資源やそれらを支える“ヒト”といった稲沢市が持つ“光”を観光まちづくりの取り組みによってつなぎ、様々な交流を生み出すことで、**稲沢市の活性化につなげていくこと**です。

#### 観光まちづくりにより達成したいこと

項目	2017 (平成29)年 【基準値】	2022 (平成34)年 【中間値】	2027 (平成39)年 【目標値】
年間観光入込客数	253.6 万人 ※	350 万人	500 万人
稲沢市の「観光振興」に対する市民満足度	31.2%	↑	50.0%
稲沢市に対して誇りや愛着を持つ市民の割合	69.7%	↑	80.0%

※ 2016(平成28)年愛知県観光レクリエーション利用者統計の数値(2,116,468人)に2016(平成28)年1月~12月のサリオパーク祖父江の利用者数(419,507人)を加えたもの。

#### 現状と課題

- 様々な分野で主体的に活動している人材が多い
- 既存イベントの運営やガイドボランティア等においても多くの人材が活躍している
- 活動の持続性や横のつながりが課題

#### アクションプラン

- 1 観光まちづくりに対する市民意識の醸成
- 2 観光まちづくり推進体制の整備
- 3 観光協会の組織・機能強化
- 4 観光受入体制(おもてなし環境・おもてなし体制)の整備
- 5 外国人観光客の受入体制の整備

#### 基本方針 1

観光まちづくりを主体的に推進する人材育成と体制整備

#### 基本方針 2

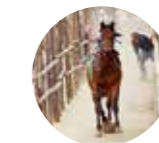
稲沢市の魅力を体感でき、様々な分野や人をつなぐ観光・交流メニューの創出

#### 基本方針 3

観光を活用した地域経済が潤う仕組みの構築

#### 現状と課題

- 稲沢市をイメージするキーワードは「植木産業」「歴史・文化」「自然」等
- 「国府宮はだか祭」をはじめとした祭りや「桜」「アジサイ」「イチヨウ」等の四季を感じることができる地域資源が魅力
- 年間を通じて稲沢市の魅力を体験できる着地型観光※メニューが必要



※ 着地型観光  
観光客の受入先が地元ならではのプログラムを企画し、参加者が現地集合、現地解散する新しい観光形態のこと。

#### アクションプラン

- 1 地域資源の活用と新たな観光資源の発掘
- 2 観光ルートの創出・ストーリーづくり
- 3 武将観光の推進
- 4 産業観光の推進
- 5 周辺地域との広域連携の推進による誘客促進
- 6 寺社との連携強化による文化財の活用
- 7 サリオパーク祖父江を核とした体験型観光の推進
- 8 “農”を活用した体験型観光メニューの創出
- 9 健康づくりと連動したまち歩き推進
- 10 荻須記念美術館の魅力向上
- 11 四季の地域資源を活用したまつり・イベントの開催
- 12 観光行動及び交流活動の推進

#### 現状と課題

- 「魅力ある食・お土産の充実」が課題
- 「観光パンフレット・マップの充実」をはじめとした情報発信が必要
- 食とお土産の充実、分かりやすい情報発信などによって市内外からの誘客を図り、地域経済の活性化につなげていくことが必要

#### アクションプラン

- 1 観光資源の価値と理解を深めるプロモーションの強化
- 2 食の魅力づくり・お土産品の開発
- 3 観光施設の安全確保と利便性の向上
- 4 交通アクセスの充実・活用
- 5 トイレ、休憩所、駐車場の整備及び案内
- 6 イベント民泊の実施
- 7 イベント・コンベンションの誘致
- 8 国際姉妹友好都市との交流による外国人観光客の誘致
- 9 観光まちづくりに資する観光統計の充実



# 2

## 重点アクションプラン

### 「(仮称)いなざわ観光まちづくりラボ」の立ち上げと推進

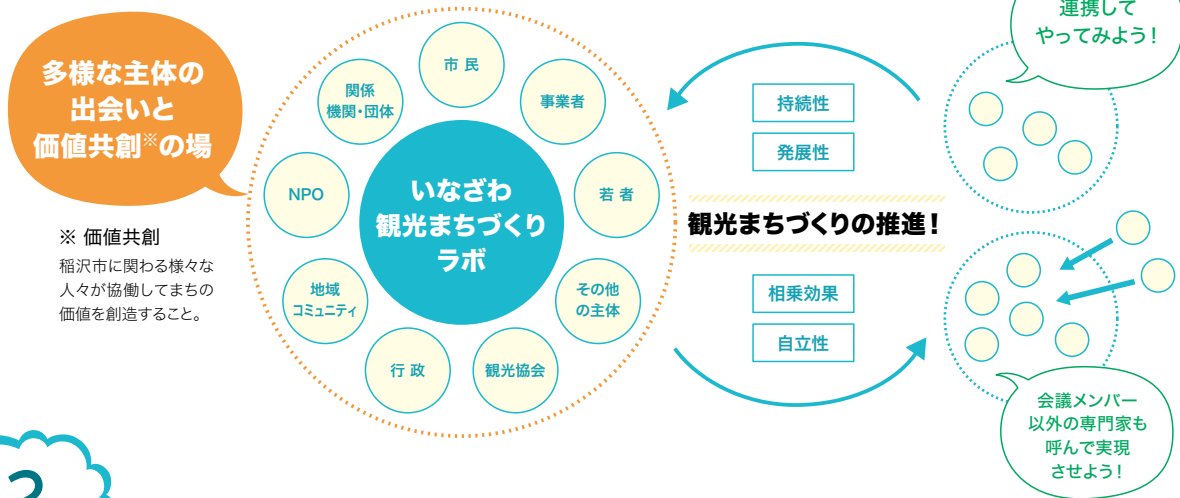
**観光まちづくりの主役となるプレイヤーの発掘と実践的な組織づくりを進めます。**

稲沢市観光協会をファシリテーター※としながら、市民や関係機関・団体、行政等、多様な主体が「(仮称)いなざわ観光まちづくりラボ」を媒介として有機的につながり、それぞれの役割やノウハウを活用し合うことで、稲沢市ならではの着地型観光メニューの創出や新たな観光・交流事業の推進、魅力の再発掘・再構築を実施していきます。

※ ファシリテーター

集会・会議などで、テーマや議題に沿って発言内容を整理し、決定権を持つことなく、順調に進行するように口添えする役割を担う人のこと。

#### 「(仮称)いなざわ観光まちづくりラボ」のイメージ



# 3

## 計画推進のための役割と体制

**各主体の連携を強化し、協働で取り組む体制をつくりまします。**

本ビジョンで設定したアクションプランを実行的かつ効果的に推進するためには、稲沢市の観光まちづくりに携わる各主体の役割を明らかにした上で、それぞれの特徴と強みを活かし、相互に連携を図りながら協働で取り組む体制を構築することが必要です。

そのため、本ビジョンの進行管理を担う組織として「(仮称)稲沢市観光基本計画推進委員会」、観光まちづくりの推進組織として「(仮称)いなざわ観光まちづくりラボ」を設置し、両組織を中心に各主体間の連携を強化しながら取り組みを進めていきます。

#### 各主体の主な役割

- 市民** ・稲沢市の魅力を再認識し、家族や友人等にその魅力を伝えます。 等
- 団体・民間企業** ・団体・企業活動を通じて、稲沢市の活性化に努めます。 等
- 稲沢市観光協会** ・「(仮称)いなざわ観光まちづくりラボ」の中心的な役割を担い、積極的な事業を展開します。 等
- 行政** ・様々な主体が取り組む観光まちづくり事業に対して、積極的な支援を行います。 等



稲沢市観光まちづくりビジョン(第2次稲沢市観光基本計画)

発行:2018(平成30)年3月 発行者:稲沢市経済環境部商工観光課

〒492-8269 愛知県稲沢市稲府町1番地 TEL:0587-32-1332 FAX:0587-32-1240